

地震防災訓練を行いました

9月20日に地震防災訓練を実施しました。

訓練概要はマグニチュード8.0の大規模地震が発生したため、甚大な被害が発生し、多数の死傷者が発生しているという想定の下

- (1) 外来救護訓練(トリアージ訓練)
- (2) 震災患者受け入れ訓練
- (3) 炊き出し訓練 を行いました。

トリアージ訓練では、患者役の傷病者へ傷病の緊急度や重症度により、4段階に分類されたトリアージタグが付けられ、トリアージタグの分類に従って必要な処置・治療・搬送が行われました。



トリアージ訓練の様子

また、トリアージタグは、簡易カルテとして利用することも可能なもので、適切な治療をうけるための重要な情報にもなりました。



患者搬送訓練の様子

このトリアージ訓練は、災害発生時の混乱状態において、通常通り順番に診察・治療をしている、最重症者の治療が遅れてしまう他、確実に救命可能な別の重症者の治療ができなくなる可能性があるため、救命の可能性が高いものから順に救護、搬送、治療に当たるための優先順位を決めるものです。

患者役には職員の他、ボランティアの方達にも協力をしていただき、迫真の演技で、本番さながらの訓練を行うことができました。こうした訓練を定期的に行うことにより緊急時の対応に備えていきます。

トリアージとは / 「病気やケガの緊急度や重症度」を判定して「治療や後方搬送の優先順位を決める」ことを言います。

トリアージタグとは / 傷病の緊急度や重症度に応じ次の4段階に分類します。

順位第1位 / 赤 (生命を救うため、直ちに処置を必要とするもの。)

順位第2位 / 黄 (多少治療の時間が遅れても、生命に危険がないもの。)

順位第3位 / 緑 (軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を必要としないものなど。)

順位第4位 / 黒 (既に死亡している者又は直ちに処置を行っても明らかに救命が不可能なものなど。)

公立病院改革プランの策定について

公立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしています。しかし近年、経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっています。今後とも地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、抜本的な改革の実施が避けて通れない課題となっていることから、昨年12月総務省から公立病院改革ガイドラインが示されました。

現在ガイドラインに沿って、本年度中に公立病院改革プランを策定するよう進めています。

9月までに外部の環境調査や各種のアンケートなどの基礎調査を終了し、今後は外部有識者による経営改革プラン策定委員会を開催し、改革プランを策定していきます。その後経営効率化の概要と数値目標を設定したアクションプランを策定する予定です。



ガイドラインは下記の4項目で構成されています。

1 公立病院改革の必要性

2 公立病院改革プランの策定

- ・病院の役割・一般会計の負担の考え方
- ・再編ネットワーク化

地域(二次医療圏)全体での医療サービスの提供

- ・日常的な医療を行い機関の再編

・経営の効率化

主要な経営指標について数値目標を設定

- ・給与、定員管理の適正化
- ・経費の削減、合理化
- ・収入確保(病床利用率の向上)

・経営形態の見直し 民間的経営手法の導入

- ・経営形態の見直しに係る検討の方向性

3 公立病院改革プランの実施状況の点検、評価、公表

4 財政支援措置等